

(様式1)

### 平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 062	提案機関名 全農神奈川県本部 農産部
<b>要望問題名</b> 1等米比率向上に向けた品種や生産方法の研究	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 神奈川県奨励品種であるキヌヒカリを中心に、1等米比率（全農集荷の21年産水稻うるち米34%）が低いのが継続課題である。神奈川県気候や土地に合う品種の導入や生産方法の研究を今後も続けていただきたい。	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

<b>回答機関名</b>	農業技術センター	<b>担当部所</b>	野菜作物研究部
<b>対応区分</b>	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b> 奨励品種決定調査事業			
<b>対応の内容等</b> 「キヌヒカリ」は出穂期の高温等により白未熟粒が発生しやすい品種であることから、これに変わる品種・系統の試験を進めております。また、本県における22年度産米の高温障害については「さとじまん」でより深刻な影響が出たことなどから、今後も気象変動に対応できる品種選定を進めていく必要があります。現在、「キヌヒカリ」に替わる複数の有望品種について特性検定を進めており、その成績につきましては随時紹介してまいります。生産方法については普及指導部と連携し、現地試験を行うなどして対応してまいります。			
<b>解決予定年限</b>	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
<b>備考</b>			